



平成25年4月18日
内閣府沖縄総合事務局

沖縄ブロック初！

公共工事関連の新技術情報提供システムが稼働

新技術情報提供システム（NETIS）とは、国土交通省が運用している公共工事関連の新技術に係る情報を共有及び提供するためのデータベースです。

NETIS は新技術情報が4,000件以上登録されており（沖縄県内企業は6件程度登録）、インターネット上で一般に公開されているため誰でも自由に閲覧する事ができます。

開発建設部では、平成25年度からNETISへの登録業務を開始します。

これまで、県内企業が新技術について審査を受け NETIS に登録するためには本土まで足を運ぶ必要がありました。今後は県内での審査・登録が可能となります。これにより、沖縄の技術が全国の公共工事で活用される機会が増え、ひいては県内企業の新技術開発が促進されることが期待できます。

※新技術情報提供システム（NETIS）

<http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp>

○今回新たに開始する業務内容は以下のとおりです。（別添資料参照）

①新技術の登録

民間等にて開発された新技術の申請を受け付けて「新技術情報提供システム」へ登録を行います。
(開発者は、本システムへ登録することで開発技術情報の共有・提供が可能となります。)

②活用効果調査表の登録

「新技術情報提供システム」に登録されている技術を使用した場合、品質や経済性などの効果を「活用効果調査表」により調査・作成し、その情報を本システムへ登録します。
(施工業者は、活用効果調査表を作成・提出すれば成績評点の加点対象となります。)

問い合わせ先
内閣府沖縄総合事務局
開発建設部技術管理課
担当者：町田、川畑
TEL：098-866-1904
FAX：098-861-9914

新技術情報提供システム(NETIS)とは…

資料

新技術情報提供システム(NETIS)とは、国土交通省が運用している公共工事関連の新技術に係る情報を共有及び提供するためのデータベースです。

活用された技術が調査・評価されることによって技術のスパイラルアップにつながります。

※沖縄総合事務局では平成25年度本予算成立後から受付を開始いたします。

